



カラーマネジメントソフトウェア

ColorNavigator™ 6



ColorEdge専用カラーマネジメントソフトウェア

ColorNavigator™ 6

初めてでも分かりやすい 使い方ガイド

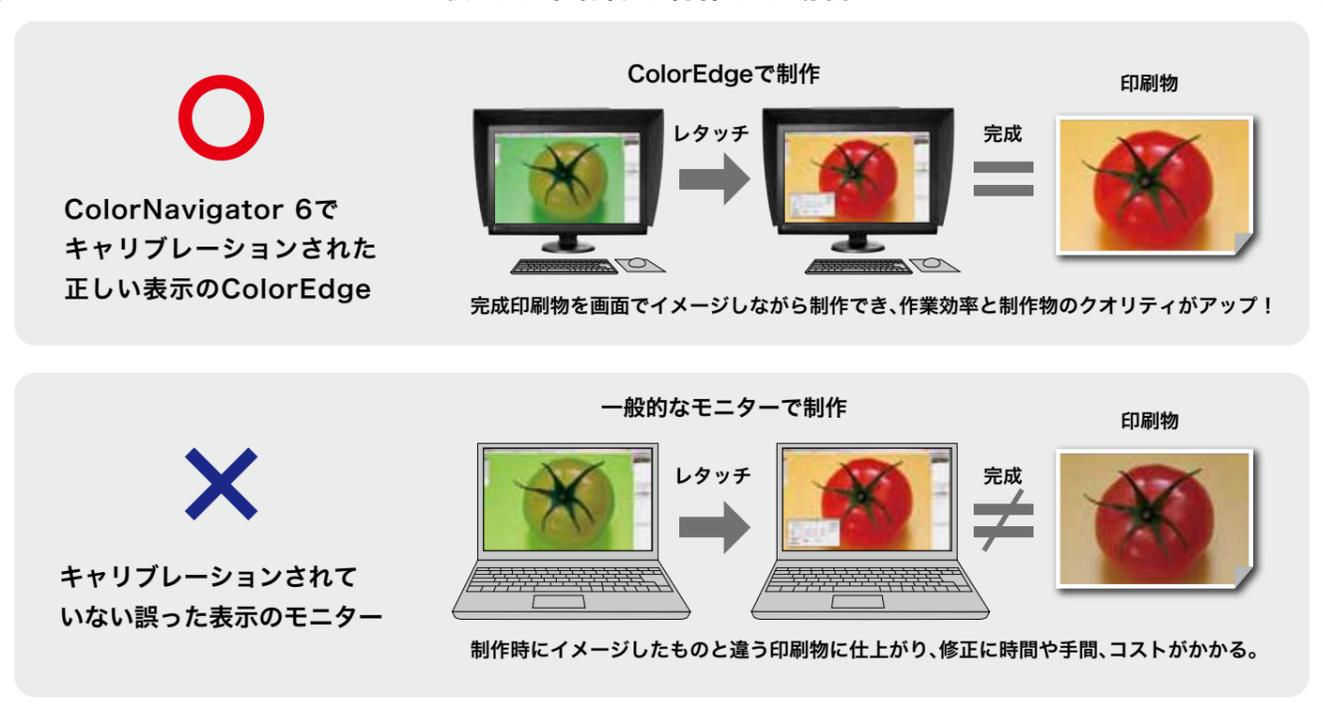
あらゆるクリエイティブワークをサポートするEIZOのカラーマネジメントモニター ColorEdge。この冊子では専用カラーマネジメントソフトウェア ColorNavigator 6を使ったキャリブレーション手順をご紹介します。



ColorNavigator 6でColorEdgeを
キャリブレーションすれば、
目的に合った正確な表示ができます。



例えば印刷物を制作する場合...



簡単! 4ステップでできる モニターキャリブレーション

STEP 1 ColorNavigator 6を起動

Windowsの場合

蝶のアイコンをダブルクリック。



Mac OSの場合

Dockの蝶のアイコンをクリック。



事前の確認

起動の前にColorEdgeとパソコンをUSBケーブルでつないでください。



USBケーブル
差し込む方向に注意!

ColorEdge側 先端が正方形 パソコン側 先端が長方形

CXシリーズ・CSシリーズの場合はキャリブレーションセンサーをパソコンまたはモニターのUSBポートに接続。

STEP 2 モニターの使い方に応じた調整目標を選択

最適な値があらかじめ設定された調整目標を、プリセットで3つご用意しています。

お好みの目標を選択して、**調整...** ボタンを押す。

Webコンテンツの制作やWeb閲覧に

目標値 輝度: 80cd/m²
色温度: 6500K
ガンマ: 2.2
色域: sRGB相当

デジタルフォトの確認・編集に

目標値 輝度: 100cd/m²
色温度: 5500K
ガンマ: 2.2
色域: モニターネイティブ

プリント作品・印刷物の制作に

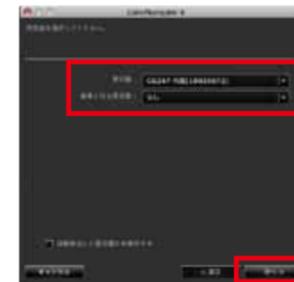
目標値 輝度: 80cd/m²
色温度: 5000K
ガンマ: 2.2
色域: モニターネイティブ



STEP 3 センサーの準備

CGシリーズの場合

測定器に、「(お使いのモニターの製品名)内蔵」を、基準となる測定器に「なし」を選択して、**次へ>** ボタンを押す。



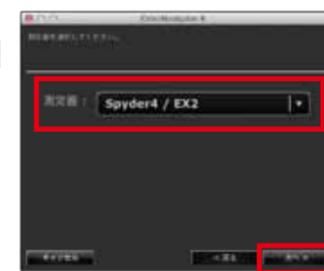
実行 ボタンを押す。



定期的な自動調整を行うためには、モニターの電源を入れてから30分待ってキャリブレーションしてください。

CXシリーズ・CSシリーズの場合

測定器にセンサー名を選択して **次へ>** ボタンを押し、画面の指示に従う。



センサーを画面に取付け、**実行** ボタンを押す。

・モニター部を上方向へチルトさせるとセンサーを固定でき、測色しやすくなります。
・定期的な自動調整を行うためには、モニターの電源を入れてから60分待ってキャリブレーションしてください。

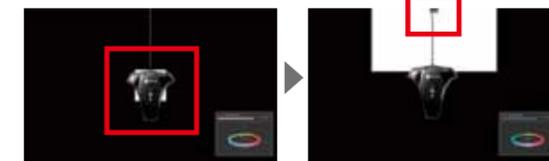
STEP 4 自動でキャリブレーション

CGシリーズの場合



内蔵キャリブレーションセンサーが測色・調整し、調整値を記憶します。

CXシリーズ・CSシリーズの場合



外付けのキャリブレーションセンサーがモニターを調整。そのセンサーの調整値を、内蔵コレクションセンサーが記憶。

キャリブレーション終了



調整結果画面で、【目標】と【結果】の値に大きな開きがないことを確認後、**完了** ボタンを押す。



初めの画面に戻り、調整目標名の横に青丸印がつく。

このとき、カラーマネージメントに必要なモニターの色情報、モニタープロフィールも自動で作成され、保存されます。

全工程は手順に従うだけの簡単な作業で、時間も数分です。これでモニター表示を信頼して作業できます。

さらに、4ステップでできる カラーマッチングの精度アップ

調整目標「印刷用」を使ってキャリブレーションした後、表示レタッチソフトでプリント作品/印刷物を開き、プリントします。プリントとモニターを見比べて、一致していれば、以下の手順は不要です。よりプリント作品・印刷物とのマッチング精度をアップさせたいときに行います。

プリントとモニター画面の色を合わせる



STEP 1

画面右上にある
高度な機能 ボタンの中から、
「**手動調整**」を選択

調整済みの目標に微調整を加える機能です。
手動調整では「輝度」「白色点」「6色」の調整ができます。



STEP 2

プリントとモニター画面を
見比べながら「**輝度**」を調整

プリントの見え方に近づくように画面の明るさ(=輝度)を調整します。画面のほうが暗い場合は、カーソルを右に移動。



色合わせできたら、
次へ> ボタンを押す。

STEP 3

プリントとモニター画面を
見比べながら「**白色点**」を調整

プリントの見え方に近づくように画面の色み(=白色)を調整します。画面のほうが青く感じる場合、青みを抜くために、ポインタを青色とは逆の赤色方向に移動。



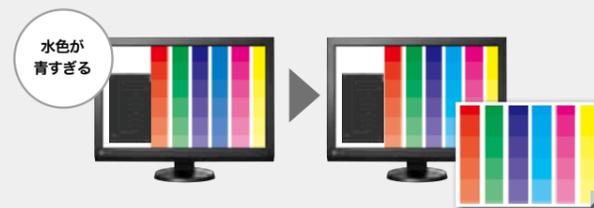
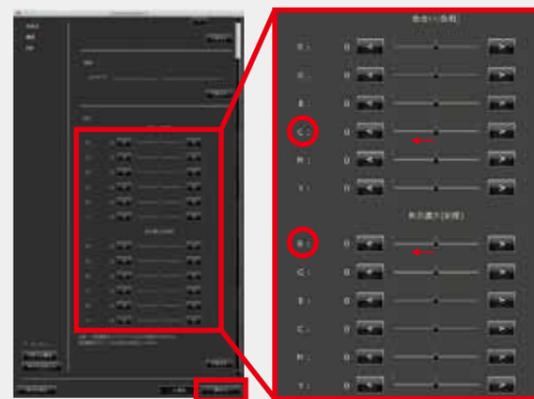
STEP 3

の後、必要に応じて実施

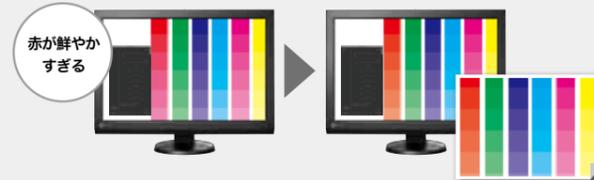
RGB、CMY、各6色の「色合い(色相)」と「色の濃さ(彩度)」の微調整

一般的なカラーマッチングでは必要ありません。印刷色を正しくシミュレーションした状態で特定色の色合いや色の濃さだけを微調整したい場合に活用します。

大きく変化させると、他の色味に影響が出ます。カラーパッチなどを表示し、他の色への影響を確認しながら調整してください。



プリントに比べて、画面の水色が青すぎる場合は、色合い(色相)のC(シアン)のカーソルを左に移動。



プリントに比べて、画面の赤色が鮮やかすぎる場合は、色の濃さ(彩度)のR(レッド)のカーソルを左に移動。

調整終了後 次へ> ボタンを押す。

STEP 4

再度キャリブレーション

キャリブレーションセンサーを使って、調整後の数値を反映した調整目標を新たにつくります。



手動調整がうまくできていれば、始めよりさらにプリントとモニター画面の色が合います。

実は、もっといろいろできる ColorNavigator 6

ColorNavigator 6には、さまざまな使用用途に応じて、多くの応用機能を用意しています。ここでは一部を簡単に紹介します。



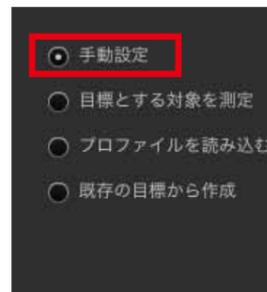
調整目標の追加も可能

プリセットされた調整目標を使わずに、用途に合わせた調整目標を新規に作成することもできます。

左下の 調整目標作成... を選択。

目標作成方法を選択

自分で任意の数値を選択して調整する場合は「手動設定」を、用紙や環境光をセンサーで測り、それに合わせる場合は「目標とする対象を測定」を、既存のRGBプロファイルを目標として調整したい場合は「プロファイルを読み込む」を選択します。



「手動設定」を行う場合

「輝度」「白色点」カーソルを手動で動かせます。(推奨輝度: 80~120cd/m²、推奨白色点: 5000~6500K) その他、色再現域、黒輝度、ガンマ値の設定も可能です。



モニターの表示は経時変化しますが、ColorEdgeなら手間なく常に安定した表示を維持できます。

モニターは定期的な調整が必要

モニターは使い続けると、経時変化が起きて徐々に暗くなり(輝度が落ちる)、色味が変わる(色温度が変わる)ため、正しい色で表示できなくなります。そこで、元の状態に戻す作業、モニターの再調整が必要になります。



POINT ▶▶ これは便利!

定期的な調整はモニターにおまかせ

あらかじめ実施するタイミングを設定すれば、そのタイミングでモニターに内蔵されたセンサーが自動で調整を実行。パソコン電源オフ時や作業中不在時に実施できるので、作業の邪魔になりません。

内蔵センサーで自動調整を行う目標値は4つまで選択できます。

■選択方法

- Mac の場合
コントロールキーを押しながら調整目標をクリック→「SelfCalibration / SelfCorrection目標に設定」を選択。
- Windowsの場合
調整目標を右クリック→「SelfCalibration / SelfCorrection目標に設定」を選択。



選択された目標値には
+マーク がつきます。

CGシリーズの場合



内蔵キャリブレーションセンサーでキャリブレーション。

同じセンサーが自動で定期的にキャリブレーションし、その表示を維持。

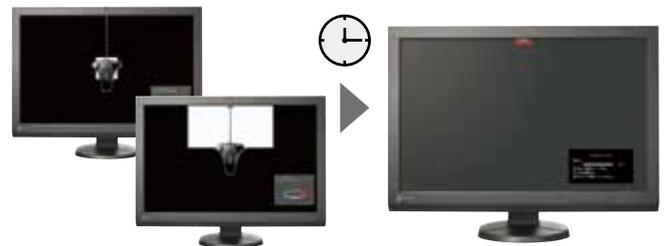
■設定方法



「高度な機能」の中から「SelfCalibration設定」を選択。

「SelfCalibrationを有効にする」にチェックを入れる。タイミングは月/週/使用経過時間などで設定できる。

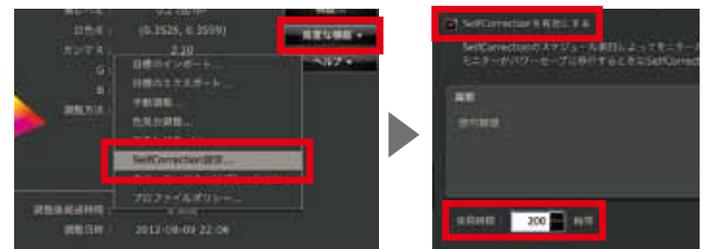
CXシリーズ・CSシリーズの場合



外付けセンサーでキャリブレーションした結果を、内蔵コレクションセンサーが記憶。

内蔵コレクションセンサーが自動で定期的に白色点・輝度を補正し、その表示を維持。

■設定方法



「高度な機能」の中から「SelfCorrection設定」を選択。

「SelfCorrectionを有効にする」にチェックを入れる。タイミングは使用経過時間で設定できる。

製品に関するお問合せは
EIZOコンタクトセンター 受付時間 月～金 9:30～17:30(祝日、当社休業日を除く)
ナビダイヤル **0570-200-557**

製品に関する情報はEIZO Webサイトで www.eizo.co.jp